


第33回 東北中学校柔道大会実施要項

- 1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学生を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主催 東北中学校体育連盟 東北柔道連盟 宮城県教育委員会
- 3 後援 東北地区中学校長会 宮城県中学校長会 青森県教育委員会 岩手県教育委員会
秋田県教育委員会 山形県教育委員会 福島県教育委員会 (財)宮城県体育協会
(財)宮城県スポーツ振興財団 気仙沼市 気仙沼市教育委員会 気仙沼市体育協会

(社)共同通信社仙台支店
- 4 主管 宮城県中学校体育連盟 宮城県柔道連盟 気仙沼・本吉地区中学校体育連盟 気仙沼柔道協会
- 5 会期 平成22年8月5日(木)～7日(土)
- | | | |
|---------|---------------------|--------------|
| 8月5日(木) | 受付 | 12:30～14:30 |
| | 非公式計量(団体試合出場者) | 13:30～14:30 |
| | 公式計量・柔道衣点検(団体試合出場者) | 14:30～15:30 |
| | 監督会議 | 15:30～16:00 |
| | 東北六県委員長会議 | 16:00～17:00 |
| | (会場練習時間) | 14:00～16:00) |
| 8月6日(金) | 開館 | 8:00 |
| | 審判会議 | 8:30～8:50 |
| | 開会式 | 9:00～ |
| | 競技開始(男女団体) | 9:30～ |
| | 表彰式(男女団体) | 14:30～ |
| | 個人試合受付 | 13:30～15:00 |
| | 非公式計量(個人試合出場者) | 14:00～15:00 |
| | 公式計量・柔道衣点検(個人試合出場者) | 15:00～16:00 |
| 8月7日(土) | 開館 | 8:00 |
| | 審判会議 | 8:30～8:45 |
| | 競技開始(男女個人) | 9:00～ |
| | 表彰式(男女個人)・閉会式 | 15:00～ |
- 6 会場 気仙沼市総合体育館 (ケー・ウェーブ)
〒988-0171 宮城県気仙沼市赤岩牧沢4番地の180 0226-21-3421
Fax 0226-21-3424
- 7 参加資格 (1) 学校教育法第1条に規定する中学校に在籍し、各県中学校体育連盟に加盟する中学校生徒で、当該競技要項により大会参加資格を得、校長が参加を認めた者。
(2) チーム編成については単独校による男女別とする。
(3) 過年齢生徒の参加については、体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満16歳に達した年度まで出場できるものとする。
(4) 参加資格の特例(各種学校等)
学校教育法第134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
ア 東北大会の参加を認める条件
(ア) 東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

- (イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
- (ウ) 参加を希望する学校は、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
- イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件
 - (ア) 東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - (イ) 東北大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - (ウ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

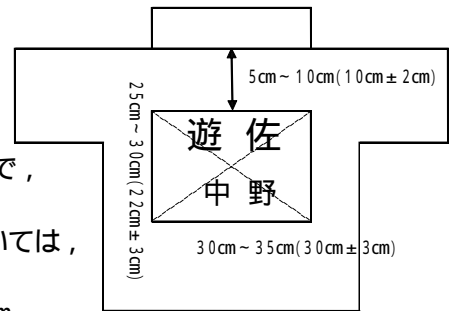
- 8 引率者及び監督 (1) 引率責任者及び監督は、出場校の校長・教員（非常勤は除く）とする。ただし、当該校に部活動がない個人種目については、別紙「東北中学校体育大会引率・監督細則」に基づき特例を認める。
- (2) 外部コーチは、校長が認めた者とする。ただし、中学校教職員・校長が他校の外部コーチとしてベンチに入ることは認めない。
外部コーチ...校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。(中学校教職員・校長は含まない。)
年度当初に各県中体連柔道専門部に登録をした1校1名までとする。
- (3) 監督・コーチは審判員に準ずる服装で入場すること。

- 9 参加数 (1) 男子団体試合は各県4チームの24チーム、女子団体試合は各県2チームの12チームとする。
- (2) チームは1校単位で編成したチームとする。
男子チームの人員は、監督1名、コーチ1名、選手8名以内、女子チームの人員は監督1名、コーチ1名、選手5名以内とする。
チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下体重順に編成する。
- (3) 個人試合は、男子8階級、女子7階級で行う。男子は、各階級とも各県4名の24名、女子は各階級とも各県2名の12名とする。
- (男子)
- | | |
|---------------------|---------------------|
| 50kg級(50kg以下) | 55kg級(55kg以下) |
| 60kg級(55kg超~60kg以下) | 66kg級(60kg超~66kg以下) |
| 73kg級(66kg超~73kg以下) | 81kg級(73kg超~81kg以下) |
| 90kg級(81kg超~90kg以下) | 90kg超級 |
- (女子)
- | | |
|---------------------|---------------------|
| 44kg級(44kg以下) | 48kg級(44kg超~48kg以下) |
| 52kg級(48kg超~52kg以下) | 57kg級(52kg超~57kg以下) |
| 63kg級(57kg超~63kg以下) | 70kg級(63kg超~70kg以下) |
| 70kg超級 | |
- (4) 団体試合及び個人試合で不参加チームあるいは選手が出た場合は、開催県で補充できる。

- 10 計量 (1) 団体・個人とも(財)全日本柔道連盟発行、柔道大会・試合運営要領(第2版)により、以下の通り計量を行う。
公式計量は1回である。(再計量は一切認めない)
公式計量は本大会で指定された時間内で終了すること。
公式計量の服装は、男子は下ばきのみ、女子はTシャツと下ばきのみを着用とする。(下着は認める。包帯、サポーター等の着用は一切認めない)
公式計量の1時間前から非公式計量(仮計量)を行う。非公式計量では時間内に自由に体重を測定することができる。
- (2) 団体試合の公式計量は監督が立ち会い、チーム毎に選手及び補欠全員の体重を測定する。計量結果は監督に通知する。
- (3) 個人試合の計量では、定められた階級の体重区分にない者は失格とする。(柔道衣の重さは含まない。)

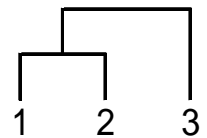
11 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定・「少年大会申し合わせ事項」による。
- (2) 優勢勝ちの判定規準は次の通りとする。
団体試合の個々の試合は、「有効」又は「指導2」以上とする。チームの内容が同じ場合は代表戦を行う。代表戦は、「僅差判定」により、必ず勝敗を決める。ただし、準決勝より、代表戦で得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
個人試合は、「有効」又は「指導2」以上とする。「僅差判定」により必ず勝敗を決する。男子は準決勝より、女子は決勝トーナメントより得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
- (3) 試合時間は、団体試合・個人試合ともすべて3分間とする。延長戦（ゴールデンスコア）は1分30秒間とする。
- (4) 柔道衣は白色とし、女子の黒帯は白線入りとする。有段者は黒帯を用いること。（講道館から段位証書が交付されている者に限る）
- (5) 選手は柔道衣にゼッケン（学校名・名字入り）を縫いつけ出場すること。
布地は白（晒・太綾）
サイズは横30cm～35cm、縦25cm～30cm
名字（姓）は上側2/3、学校名は下側1/3
字体は太ゴシック体または明朝体
男子は黒色文字、女子は赤色文字
縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の場所で、対角線にも強い糸で縫い付けをすること。
ただし今年度は、サイズと縫い付け場所については、旧ルールも認める。
- (ア) サイズは横30cm±2cm、縦22cm±2cm
(イ) 縫い付け場所は襟から10cm±2cm下部の位置。
女子は上衣の下に半袖の丸首シャツ（白色、無地）を着用すること。（ワンポイント等は認めない。）



12 競技方法

- (1) 団体試合
2つのチーム間における対戦は、男子1チーム5人、女子1チーム3人による紅白点取り試合方式で行う。
チーム編成は、最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。補欠選手を繰り入れた場合も、順次体重順の編成とする。試合毎に選手の位置を変えることはできない。また、一度退いた選手は再出場することはできない。
男子は参加24チームを3チームずつ8組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の1位、合計8チームによって決勝トーナメント戦を行う。女子は参加12チームを3チームずつ4組に分け、各組でリーグ戦を行い各組の1位、2位の合計8チームによってトーナメント戦を行う。
リーグ戦の順位は次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
カ オにおいて同等の場合は、代表戦を（1名）を1回を行い、決勝トーナメント戦への出場チームを決定する。三つ巴の場合は、各チーム代表1名によるトーナメント戦を行い決定する。組み合わせは抽選で行い、各試合の休み時間は3分とする。
トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
- ア チーム間における勝ち数による。
イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
ウ イにおいて同等の場合は、代表戦（1名）により決定する。
- (2) 個人試合
男子はトーナメント戦で行う。
女子は参加者を4ブロックに分け、それぞれ予選リーグを行う。その後、各ブロックの1位により決勝トーナメント戦を行う。（リーグで同点の場合は、抽選によりトーナ



メント戦で勝敗を決する。)

- 13 表彰 (1) 団体は1位～3位までの4チームを表彰する。優勝校(男女)には優勝カップを授与する。(優勝カップは持ち回りとする。)
(2) 個人は、各階級とも第1位～第5位までの8名を表彰する。
- 14 参加料 参加生徒一人1,000円とする。(受付時に納入すること。)
- 15 参加申込 (1) 所定の用紙に必要事項を記入の上、平成22年7月26日(月)必着で下記連絡先に申し込むこと。期日までに申込のない場合は出場できない。申込と同時に所定の様式のファイルをE-mailにて下記連絡先アドレス宛送信すること。
(2) 各県専門委員長は、各県の代表チーム、代表選手を県大会終了後すぐに下記連絡先へ報告すること。
(3) 団体試合申込提出後、病気、負傷等で選手変更を必要とする場合は、当該校長からの選手変更届(様式は自由、変更の理由、公印必要)を提出すること。期日後の選手変更は、登録選手の交代のみとする。
(4) 個人試合申込書提出後、選手の病気、負傷等で出場できない場合は、当該校長からの辞退届を事務局に提出し、その選手の所属する県で代替りの選手を推薦し、出場させることができる。
(5) 辞退届及び変更届の締め切りは、平成22年7月30日(金)とする。それ以降は受け付けない。
- 16 諸会議 (1) 監督会議 気仙沼市総合体育館 会議室
平成22年8月5日(木) 15:30～16:00
(2) 専門委員長会議 気仙沼市総合体育館 会議室
平成22年8月5日(木) 16:00～17:00
- 17 宿泊 宿泊要項は別紙とする。大会出場者(引率者・監督・コーチ・選手)の宿泊申込みについては、必ず宿泊要項にある指定業者を通して申し込むこと。
- 18 その他 (1) 8月5日(木)14:00～16:00 会場を練習に開放する。
(2) 大会期間中の負傷、傷病等については応急処置のみ行う。参加者は健康保険証を持参することが望ましい。
(3) 役員・監督・コーチ・選手以外は試合会場への入場を禁止する。
(4) プログラムは、個人試合のみの参加校に1部、それ以外の参加校には2部配布する。
(5) 大会についての問い合わせは、各県専門委員長を通じて申し出ること。また、監督会議に出席できない場合には、各県で対応すること。
(6) その他、必要事項については監督会議において連絡する。
(7) 東北中学校体育連盟では申込書に記載する、選手氏名・学校名・学年等の情報は、本大会プログラムへ掲載し広く公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。申込書に掲載する情報の利用について同意が得られない等、事情がある場合は各県中学校体育連盟を通して東北中学校体育連盟及び開催県実行委員会と連絡をとり、適切に対処する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。

19 連絡先

第33回東北中学校柔道大会実行委員会事務局
〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野字高橋前65
仙台市立中野中学校内 遊佐 英徳
TEL 022-259-2020 FAX 022-259-2593
E-mail hideyusa@sendai-c.ed.jp
(イチ・アイ・ディ・イー・ワイ・ユー・エス・エイ)